霞城 KAJYŌ

第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

ホームページはこちらから！

2022 June 6

「令和4年度春季演習場統一整備」に参加

安全管理・健康管理万全に

それぞれの任務を遂行

「大高根野営訓練」を実施

自衛官候補生 元気溌剌！

野外勤務について学ぶ候補生たち

Contents

2ページ
●安全管理・健康管理万全に
「令和4年度春季演習場統一整備」に参加
●それぞれの任務を遂行
「令和4年度第2次連隊集中訓練」を実施
●大人気!陸上自衛隊車両ツアー
「第11回天童高原634の松交流イベント」に協力

3ページ
●自衛官候補生 元気溌剌!「大高根野営訓練」を実施
●「令和4年度師団銃操作指導者集合訓練」を実施
●高機動車を展示「PCO広報展」に協力

4ページ
●リクルーターによる広報活動を実施
「Lady Go! プロジェクト」を発信
●格闘訓練を体験
「総合的な学習の時間における職場体験」に協力
●「駐屯地見学」に協力
●隊員紹介コーナー
●各種表彰
●7月行事予定

「令和4年度 春季演習場統一整備」に参加

横隊になり、一気に集積

訓練地域の伐開

安全管理・健康管理万全に

5月12日(木)から19日(木)までの間、王城寺原演習場において実施された「令和4年度春季演習場統一整備」に連隊整備隊長(連隊長：荒木1佐)以下約350名が参加し、演習場の機能維持・向上のための整備を行った。

10日(火)、駐屯地営庭において連隊編成完結式を行い、連隊整備隊長は「凡事徹底」「安全管理」「健康管理」の3点を要望し、「作業工程管理を適切に実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りつつ、安全管理を徹底し、1件の事故もなく任務を達成せよ。」と訓示した。

12日(木)からは演習場において、連隊の担任区分であるD－2弾着地の整備(担当：第2・3・4及び重迫撃砲中隊)、演習場内道路の整備(担当：第1・2・3・4及び重迫撃砲中隊)、各射場の整備(担当：本部管理中隊)、訓練地域の伐開(担当：第1中隊)を実施した。

整備実施間、雨や濃霧など悪天候に見舞われることもあったが、隊員たちは安全距離を十分に確保しつつ、互いに声を掛け合いながら草刈機やチェーンソーを操作するなど安全管理を徹底していた。また刈り終えた草は隊員が横隊になり一気に集積するなど全員が一致団結して効率的に作業に取り組んでいた。

連隊整備隊は、5月17日(火)に整備を概成させ、1件の事故もなく任務を遂行した。

各射場整備

それぞれの任務を遂行 「令和4年度第2次連隊集中訓練」を実施

6月9日(木)から15日(水)までの間、大高根演習場(村山市)において「令和4年度第2次連隊集中訓練」を実施した。本訓練はそれぞれの中隊が与えられた基盤を活用し、小隊訓練検閲及び練成訓練等を実施した。

9日から10日まで、第2中隊は第2小隊訓練検閲及び野外炊事を、同じく第3中隊は第1小隊訓練検閲及び通信訓練を実施した。また、12日から13日には、第1中隊が各小銃小隊訓練検閲及び81㎜迫撃砲縮射射撃訓練を、13日は第4中隊が第2小隊訓練検閲をそれぞれ実施した。

訓練間、隊員たちは第1次連隊集中訓練の教訓事項等を踏まえつつ、それぞれの任務に真摯に取り組み、確実に練度を積み上げることが出来た。

第1中隊　各小銃小隊訓練検閲

第4中隊　第2小隊訓練検閲

第2中隊　第2小隊訓練検閲

第3中隊　第1小隊訓練検閲

「第11回天童高原634の松交流イベント」に協力

大人気！陸上自衛隊車両ツアー

5月29日(日)、天童高原キャンプ場特設会場において天童高原634の松交流イベント実行委員会が主催する「第11回天童高原634の松交流イベント」に協力した。

連隊から、第3中隊の6名が参加し、装備品展示(軽装装甲機動車)及び説明、体験搭乗(高機動車)、らっぱ吹奏を実施した。

イベント当日、多くの来場者が集まった会場において、らっぱ手2名が「課業開始」を吹奏してイベント開始をお知らせ。らっぱの音色が新緑の天童高原に響き渡り、会場は大いに盛り上がった。

イベント間、「陸上自衛隊車両ツアー（体験搭乗）」では、「ぜひ自衛隊の車両に乗ってみたい！」という親子連れが長蛇の列を作り、賑わいを見せつつ、高機動車の乗り心地を楽しんでいた。また、体験搭乗の待ち時間には、装備品展示を楽しむ姿や、車両と隊員と一緒に記念写真を撮影する姿が見受けられたほか、装備品説明パネルに掲載されているQRコードを読み取り、連隊のホームページを見るなど、自衛隊について知っていただくとても有意義な時間となった。

イベントに参加した親子からは、「楽しかった。自衛隊さんありがとう。」「また車に乗せてね！」など歓喜の声をかけていただき、協力した隊員たちは来場者の皆様から活力をいただいた。

連隊は、本イベント協力を通じ、地域住民等の自衛隊に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることが出来た。

らっぱの音色でイベント開始

子供たちの思い出に

たくさんの笑顔を運んだ体験搭乗

自衛官候補生 元気溌剌！

手りゅう弾投擲

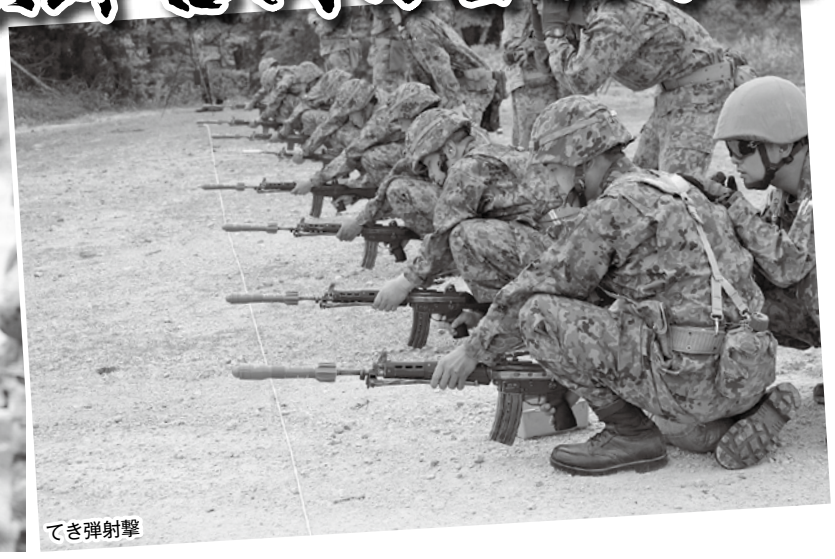
「大高根野営訓練」を実施

新隊員教育隊（教育隊長：向田2佐）は、5月17日（火）から20日（金）までの間、大高根演習場（村山市）において、大高根野営訓練を行った。

野営間、小銃てき弾射撃、手りゅう弾投擲、野戦築城（個人の偽装、掩体構築）、歩哨外哨を実施した。

特に、小銃てき弾射撃及び手りゅう弾投擲において候補生たちは、班長の号令をよく聞き、正しい動作で訓練を行ったほか、確実な安全管理のもとで、練度を向上させた。また、そのほかの課目においても、初夏の暑さに負けることなく積極的に臨み、自衛官としての基礎的な知識・技能の修得を図った。

ドーランで偽装


てき弾射撃

「PCO広報展」に協力

高機動車を展示

隊員たちと記念写真

6月12日（日）、イオンモール三川駐車場で行われた「イオンモール三川はたらくクルマ展」において、自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展に協力した。

連隊からは、重迫撃砲中隊の2名が参加し、装備品の展示（高機動車）及び説明を行った。イベント当日は天候にも恵まれ、たくさんの親子連れや、買い物に来られたお客様が多数訪れ、会場は賑わいを見せた。来場者は、普段あまり見る機会のない自衛隊車両に興味深々で、展示パネルの内容について隊員に質問するなど会話を楽しんだほか、装備品をバックに隊員と記念写真を撮影するなど、イベント会場は和気あいあいとした雰囲気で満ちていた。

連隊は本協力において、自衛隊の活動に対する理解の促進と親近感の醸成、防衛基盤の拡充を図ることが出来た。

令和4年度師団銃操作「指導者集合訓練」を実施

切磋琢磨し練度向上

展示説明で認識統一

習熟した銃操作

5月30日（月）から6月2日（木）までの間、駐屯地グラウンド及び西訓練場において「令和4年度師団銃操作指導者集合訓練」（担任中隊：第3中隊）を実施し、連隊からは教官・助教として6名が参加し、被教育者として師団隷下部隊（第6後方支援連隊、第6高射特科大隊、第6施設大隊、第6通信大隊、第6偵察隊、第6情報隊、第6飛行隊、第6特殊武器防護隊、第6師団司令部付隊、第6音楽隊）から33名が参加した。

30日、2号隊舎舎後において訓練開始式が実施され、担任官（連隊長：荒木1佐）は「凡事徹底」「安全管理」の2点を要望し、「全隊員が訓練目的を達成して、各部隊にその成果を普及できる練度に到達することを期待する。」と訓示を述べた。

当初、座学において本集合訓練の概要、安全管理5原則等について認識を深めた後、銃口管理等の基本操作、故障排除等を含めた応用操作、目標変換射撃の3段階に区分された項目に取り組んだ。

31日には、空包を使用した練度判定が行われ、被教育者たちは緊張感漂う状況のなか、確実な動作で銃を操作し、全員が各個の動作について練度を向上させた。

6月1日は、西訓練場においてバトラーを用いた応用訓練が実施され、組（2名1組）による錯雑地における移動から射撃までの一連の戦闘行動を行い、移動間における銃操作、安全管理要領を演練した。

被教育者たちは本訓練を通じ、状況に応じた小火器の取り扱い、銃口管理、空包使用に係る安全管理及び号令に応じた正しい動作について、心手期せずして行動できるまでに練度を向上させた。

７月行事予定

4日(月)・新庁舎落成記念行事

4日(月)～**15**日(金)
・第１次師団訓練検閲支援

5日(火)・新隊員後期教育訓練開始式

25日(月)～**30**日(土)
・基礎となる部隊の訓練検閲
（第３中隊・対戦車小隊）

29日(金)・転出者見送り行事

リクルーターによる広報活動を実施
「Lady Go!プロジェクト」を発信

第４中隊　渡邊士長

5月16日(月)、山形城北高等学校において実施された「総合的学習自衛隊説明会」にリクルーターとして第４中隊　渡邊勇太　士長が参加し、生徒59名(男性53名・女性６名)に対し、自衛隊の訓練や営内での生活等について説明した。

また、20日(金)には、大原スポーツ公務員専門学校山形校において実施された「お仕事ガイダンス」にリクルーターとして第３中隊　堀　博道　士長が参加し、学生70名(男性58名・女性12名)に対し、部隊での活動等について説明した。

この際、各リクルーターは、連隊が実施している「Lady Go!プロジェクト(女性活躍推進施策)」についての説明も行い、女性が働きやすく、個々の能力を発揮できる環境作りに取り組んでいることを伝えた。

参加者たちは「自衛隊の活動を知ることができてよかった。」「男性社会だと思っていたが女性も活躍できることを知れて興味が湧いた。」と述べ、自衛官という職種に関心を示してした。

第３中隊　堀士長

格闘訓練を体験
「総合的な学習の時間における職場体験」に協力

楽しみながら訓練を体験

5月23日(月)、神町駐屯地において自衛隊山形地方協力本部が実施する「総合的な学習の時間における職場体験」に協力した。

職場体験には、山形城北高等学校から58名の生徒が参加し、第２中隊の４名が格闘の課目を行った。課目では、まず基礎的な構えや突きを空間動作で体験し、次にそれぞれの状況における対処要領について格闘指導官が展示説明を行った。

参加した生徒たちは、当初緊張した様子だったが課目が進むにつれ、隊員とも打ち解け、積極的に質問するなどコミュニケーションを図り、楽しみながら自衛隊の訓練を体験した。

生徒たちは「格闘楽しかった。」「また機会があれば違う訓練も体験してみたい。」とコメントしていた。

各種表彰

【令和３年度官用車両安全運行優秀中隊】
・第４中隊

【令和４年度春季王城寺原演習場統一整備優秀隊員】
（第２施設団長より褒賞メダル）
・第１中隊　２曹　芦野　亘
・重迫撃砲中隊　３曹　大場　鉄平

【演習場整備間活躍した隊員の紹介】
・本部管理中隊　士長　黒沼さくら
・第２中隊　３曹　大場　義恭
・第３中隊　士長　伊藤　龍星
・第４中隊　３曹　斉藤　流

【令和４年度情報管理検査優秀隊員】
（情報保証優秀隊員）
・第３中隊　３曹　川合　陸也
（個人情報保護優秀隊員）
・第２中隊　１曹　村上　純一
（行政文書管理優秀隊員）
・第４中隊　３曹　曽根　大暉
・重迫撃砲中隊　３曹　田口　雄也

【５月警衛勤務優秀らっぱ手】
・本部管理中隊　３曹　原田　希実
（９日上番）
・第３中隊　１士　海老名美咲
（13日上番）
・重迫撃砲中隊　士長　山口　莉瑚
（19日上番）
・第２中隊　士長　若山　宗洋
（24日上番）

「駐屯地見学」に協力

駐屯地を満喫（大原スポーツ公務員専門学校山形校）

自衛隊車両に興味深々（鶴岡市立第１中学校）

5月19日(木)、及び5月25日(水)から27日(金)までの間、神町駐屯地において駐屯地広報班が実施する「駐屯地見学」に協力した。

5月19日、鶴岡市立第１中学校の３年生68名が修学旅行の一環として駐屯地に訪れ、連隊からは第４中隊１名、重迫撃砲中隊１名が参加し、装備品展示(高機動車・軽装甲機動車)を実施した。

5月25日(水)から27日(金)には、大原スポーツ公務員専門学校山形校の２年生72名が駐屯地に訪れ、連隊からは第１中隊２名、第３中隊２名が参加し、高機動車の体験搭乗を実施した。

それぞれの実施日において、学生たちは初めて見る自衛隊の車両に目を輝かせつつ、体験的な搭乗や隊員との記念撮影を楽しむなど、充実した時間を過ごしており、「自衛隊楽しい。イメージ変わりました。」と話す学生の姿も見受けられた。

連隊は本協力を通し、自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図るとともに、じ後の自衛隊志願意欲の向上を図ることが出来た。

隊員紹介コーナー

～ChildCare７取得しました！！～

ChildCare７とは・・・
仕事と育児の両立を支援するための制度であり、男性隊員が取得することが出来る。配偶者出産休暇（２日）及び育児参加のための休暇（５日）のこと。

取得した隊員
〈重迫撃砲中隊〉
・鈴木　大貴　３曹
・武田　翔　３曹

・コメント
家族と充実した時間を過ごすことができ、とてもいい制度だと感じました。
男性隊員必ず取得するべし！

鈴木３曹　お子さん

武田３曹　お子さん

お父さんが休み嬉しいな

令和四年六月三十日発行　発行所／山形県防衛協会　印刷／藤庄印刷株式会社